

書籍のご紹介

【標準採血法ガイドライン(成案)】

発行：特定非営利活動法人 日本臨床検査標準協議会



制作・購入問合せ先：

有限会社 学術広告社

電話：03-3816-7678

価格：840円（税込）

昨年、JCCLS 特定非営利活動法人 日本臨床検査標準協議会は、標記のガイドラインを発行した。このガイドラインは採血を受ける者や医療従事者が安全で正しい検査結果を得ることを目的とし、医師、看護師、臨床検査技師、医療器材製造業界の代表と厚生労働省のオブザーバー参加による「標準採血法検討委員会」の検討結果をまとめたものである。

採血法については、平成 15 年に採血管の未滅菌の問題に端を発して適正な採血法をめぐる議論が活発化し、標準的な採血法の提示が求められるようになり、JCCLS 内に日本で初めての「標準採血法検討委員会」が設置され、検討を重ねてきた。平成 16 年 7 月には「標準採血法ガイドライン（試案）」が発表され、以来ガイドラインは広く医療業界に支持されてきた。今回はさらに論議を重ね、平成 17 年に行われた採血関連の公的規制にも対応可能な内容となっており、また採血合併症についての情報も新たに巻末に加え、成案として公表したものである。

なおこのガイドラインについては、厚生労働省

が平成 20 年から実施する健診・保健指導では、検体検査の精度管理上特に留意すべき事項として、採血については『JCCLS 標準採血法ガイドライン（2006 年）を参考にする。』との記載がされている。（平成 19 年 3 月 26 日開催「第 6 回 標準的な健診・保健指導の在り方に関する検討会」参考資料 1「健康診査における精度管理の在り方」参照）

JCCLS 日本臨床検査標準協議会：臨床検査の普及や質の向上を目指して、米国の同様な団体（CLSI、旧 NCCLS）をモデルとして、関連する医学会、行政（厚労省、政府系機関）、産業界（臨床検査関連企業）の代表者を委員に迎え活動している団体である。現在本協議会の傘下で多くの委員会が活動しているが、中でも主な委員会として以下が挙げられる。遺伝子関連検査標準化専門委員会、血液検査標準化検討委員会、尿検査標準化検討委員会、臨床検査標準化基本検討委員会、ISO/TC212 国内検討委員会、認証委員会など。

URL <http://www.jccls.org/>